

タヌキの愛した!?! 遍路道

松山大生ら マップ作成 県内26札所や伝説紹介

NPO法人松山大学生地域創造研究所Museはこのほど、四国霊場の県内26カ寺を名所や史跡と共に紹介した折り畳み式1枚地図「たぬきの愛した遍路みち」を発行した。制作した学生らは「活用して四国遍路に親しんでほしい」と呼び掛けている。



松山大では2005年から、県内遍路道の各地区の地図を年1作のペースで作成。四国遍路開創1200年とされる今年の9作目である。県内札所を網羅できたことから、タイジエスト版を作った。

地図はA2判よりやや小さく、折り畳むと手のひらサイズになる。日本語版と英語版の両面刷り。1作目からのコンセプト「地域に根ざした遍路文化を分かりやすく」(Muse所長の金村毅・松山大名誉教授)を継承し、札所の情報を簡潔にまとめ、県内に多く

今治城(今治市)、開明学校(西予市)などを紹介している。

シリーズを通してイラストを担当した松山大卒業生でイラストレーター・西岡真希子さん(30)「川崎市」は「身近に感じてもらいたい」と、タヌキなどのキャラクターを描いてきた。卒業後も原点に立ち返れる仕事だった」と感慨深げ。

法学部3年の窪田千海さん(21)は「先輩たちが苦勞を重ねた地元愛のあふれるマップを1枚にまとめることができた。遍路を通じて四国の温かさを感じてほしい」と語った。

5千部発行。県内札所や観光施設のほか、東京など県外での無料配布を検討している。

松山大生の10年にわたる成果を1枚に凝縮した遍路マップ

伝わるタヌキの伝説や

(杉本賢司)